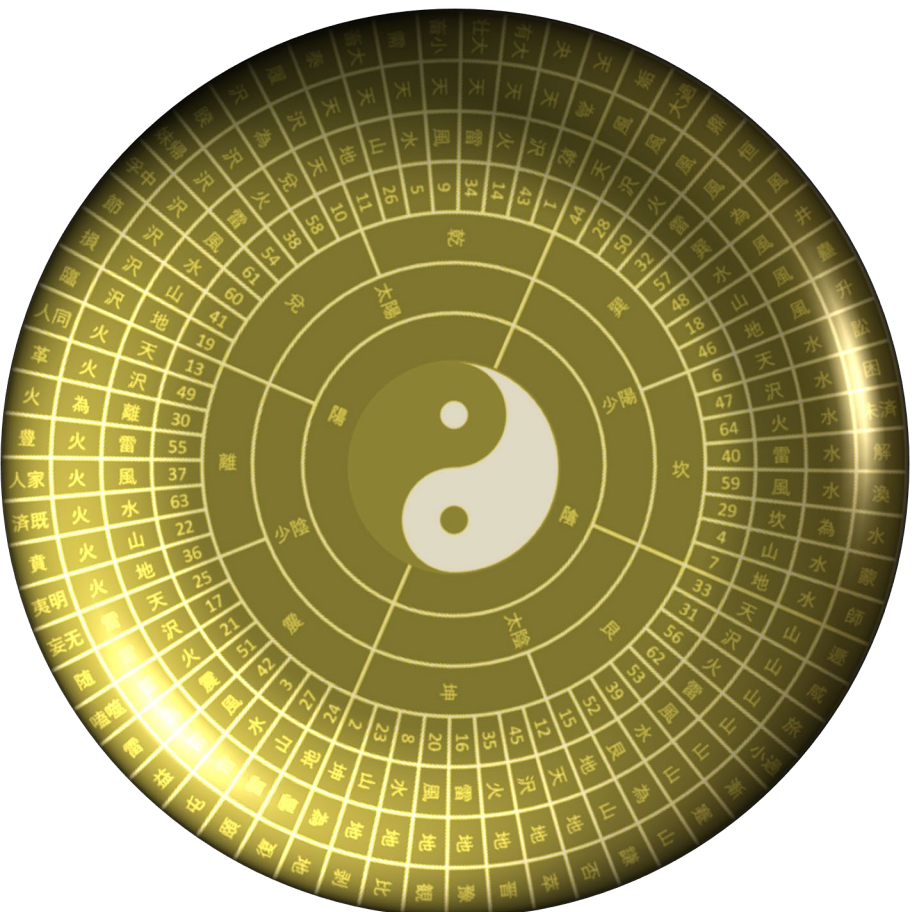


# 周易・卦辞



音読用書き下し文

留意事項

◆ 自己研鑽に作成しています。スマホ表示にて、毎朝夕に音読し、隙間時間に黙読する目的です。写書にも使える想定です。

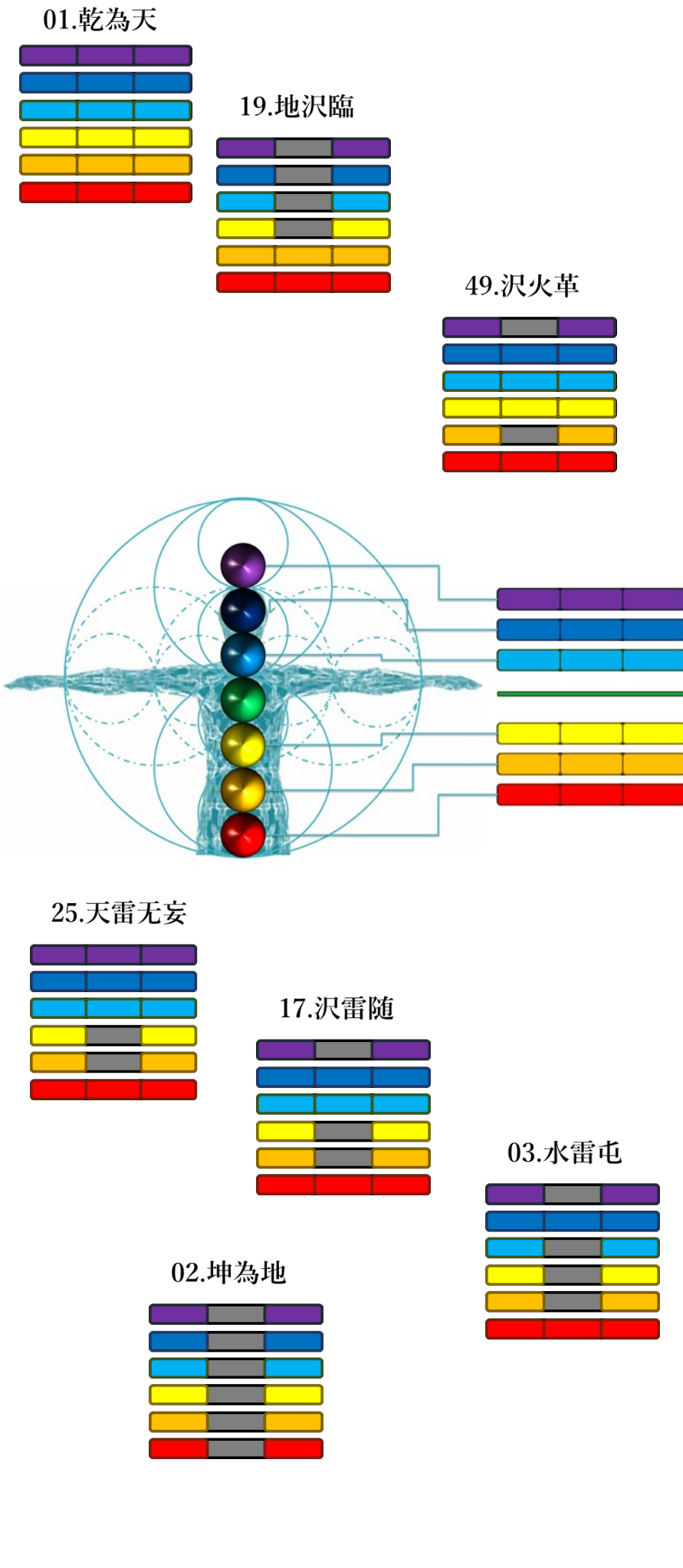
◆ 日本語表記は「本田濟著 易 朝日新聞社, 1997.2. 646p; ISBN 4-02-259010-6」を参考に作成しています。解説を要する場合にはまず、この書籍の購入をお勧めします。

◆ 読み仮名は「今井 宇三郎 著 新釈漢文大系 23 易経 上 明治書院 1987 600p; 4-625-57023-9978-4-625-57023-0」「今井 宇三郎 著 新釈漢文大系

24 易経 中 明治書院 1993 770p; 4-625-57024-7978-4-625-57024-7」「今井 宇三郎 著／堀池 信夫 著／間嶋 潤一 著 新釈漢文大系 63 易経 下

明治書院 2008.11 520p; 978-4-625-67314-6」を参考に選択しています。

◆ 漢字表記は「<https://ja.wikipedia.org/wiki/六十四卦>」を参考に編集しています。同サイトの有効活用、および継続的な寄付をお勧めします。



63 既濟  
きせい



未濟  
びせい  
64

55 豊  
ほう



旅  
りよ  
56

47 困  
こん



井  
せい  
48

39 蹇  
けん



解  
かい  
40

31 咸  
かん



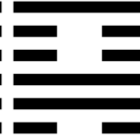
恒  
こう  
32

25 无妄  
むぼう



大畜  
だいちく  
26

17 隨  
ずい



蠱  
こ  
18

9 小畜  
しょうちく



履  
り  
10

1 乾  
けん



坤  
こん  
2

57 巽  
そん



兌  
だ  
58

49 革  
かく



鼎  
てい  
50

41 損  
そん



益  
えき  
42

33 遯  
とん



大壯  
だいそう  
34

27 頤  
い



大過  
たいか  
28

19 臨  
りん



觀  
かん  
20

11 泰  
たい



否  
ひ  
12

3 屯  
ちゆん



蒙  
もう  
4

59 渙  
かん



節  
せつ  
60

51 震  
しん



艮  
ごん  
52

43 夬  
かい



姤  
こう  
44

35 晋  
しん



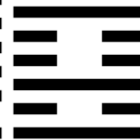
明夷  
めい  
36

29 坎  
かん



離  
り  
30

21 噬嗑  
ぜいごう



賁  
ひ  
22

13 同人  
どうじん



大有  
だいゆう  
14

5 需  
じゆ



訟  
しょう  
6

61 中孚  
ちゆうふ



小過  
しょうか  
62

53 漸  
ぜん



歸妹  
きまい  
54

45 萃  
すい



升  
しょう  
46

37 家人  
かじん



睽  
けい  
38

23 剝  
はく



復  
ふく  
24

15 謙  
けん



豫  
よ  
16

7 師  
し



比  
ひ  
8

1 乾為天



乾、元亨、利貞。

乾は元いに亨る、貞しきに利あり。

2 坤為地



坤、元亨。利牝馬之貞。君子有攸往。先迷後得主、利。西南得朋、東北喪朋。安貞吉。

坤は元いに亨る。牝馬の貞に利あり。君子往くところあり。

先んずれば迷い、後るれば主を得て、利あり。西南に朋を得、東北に朋を喪う。貞に安んずれば吉なり。



3 水雷屯 

屯、元亨利貞。勿用有攸往。利建侯。


ちゆん おお とお ただ

屯は元いに亨る、貞しきに利あり。

もつ ゆ

用て往くところあるなかれ。侯を建つるに利あり。

きみ た

4 山水蒙 

蒙、亨。匪我求童蒙。童蒙〔來〕求我。初筮告。再三瀆。瀆則不告。利貞。

もう とお われどうもう もと

蒙は亨る。我童蒙を求むるに匪ず。童蒙来りて我に

あら どうもうきた われ

もと しよせい つ

求む。初筮は告ぐ。再三すれば瀆る。瀆るれば告げず。

さいさん けが けが つ

ただ

貞しきに利あり。

り



5 水天需 すいてんじゆ



需有孚、光亨、貞吉。利涉大川。

じゆ まこと

おお

とお

てい

きつ

需は孚あれば光いに亨る、貞なれば吉なり。

たいせん

わた

り

大川を渉るに利あり。

6 天水訟 てんすいしやう



訟、有孚窒。惕中吉。終凶。利見大人。不利涉大川。

しやう

まこと

ふさ

訟は孚ありて窒がる。

おそ

ちゆう

きつ

お

きやう

惕れて中すれば吉なり。終えんとすれば凶なり。

たいじん

み

り

たいせん

わた

り

大人を見るに利あり。大川を渉るに利あらず。



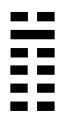
7 地水師 ちすいし



師貞。丈人、吉无咎。

師は貞。丈人なれば吉にして、咎なし。

8 水地比 すいちひ



比吉。原筮元永貞、无咎。不寧方來。後夫凶。

比は吉。原筮するに元永貞にして、咎なし。

寧からざるものまさに来る。後夫は凶なり。



ふうてんしやうちく

### 9 風天小畜



小畜亨。密雲不雨、自我西郊。

しやうちく とお

小畜は亨る。

みつうん あめ

密雲して雨ふらず、わが西郊よりす。

せいこう

### 10 天沢履

てんたくり



履虎尾。不咥人、亨。

とら お ふ

虎の尾を履む。人を咥わず、亨る。

ひと くら とお





11 地天泰 ちてんたい



泰、小往大來。吉亨。

たい しやうゆ だいきた きつ とお  
泰は小往き大來る。吉にして亨る。

12 天地否 てんちひ



否之匪人。不利君子貞。大往小來。

これ ふさ ひと あら くんし てい り  
之を否ぐは人に匪ず。君子の貞に利あらず。

だい ゆ しやうきた  
大往き小來る。



13 天火同人 てんかどうじん



同人于野。亨。利涉大川。利君子贞。

ひと どう

や おい

とお

人に同ずるに野に于てす。亨る。

たいせん

わた

り

くんし

てい

り

大川を渉るに利あり。君子の貞に利あり。

14 火天大有 かてんだいゆう



大有、元亨。

だいゆう

おお

とお

大有は元いに亨る。



15 地山謙 ちさんけん

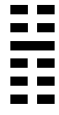


謙亨。君子有終。

けん とお くんし おわ

謙は亨る。君子は終りあり。

16 雷地豫 らいちよ



豫、利建侯行師。

よ きみ た いくさ や

豫は侯を建て師を行るに利あり。



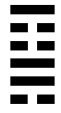
17 沢雷随 たくらいずい



随、元亨利貞。无咎。

随ずいは元おおいに亨とおる、貞ただしきに利りあり。咎とがなし。

18 山風蠱 さんぷうこ



蠱、元亨。利涉大川。先甲三日、後甲三日。

蠱こは元おおいに亨とおる。大川たいせんを涉わたるに利りあり。

甲こうに先さきだつこと三日みつか、甲こうに後おくるること三日みつか。



19 地沢臨 ちたくりん



臨、元亨利貞。至于八月有凶。

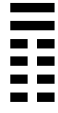
りん おお とお ただ

臨は元いに亨る、貞しきに利あり。

はちがつ いた きよう

八月に至りて凶あり。

20 風地觀 ふうちかん



觀、盥而不薦、有孚顒若。

かん かん せん まこと

觀は盥して薦せず、孚ありて顒若たり。

ぎようじゃく



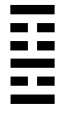
21 火雷噬嗑 からいぜいごう



噬嗑、亨。利用獄。

ぜいごう とお ごく もち り  
噬嗑は亨る。獄を用うるに利あり。

22 山火賁 さんかひ



賁、亨。小利有攸往。

ひ とお すこ ゆ り  
賁は亨る。小しく往くところあるに利あり。



23 山地剥 さんち はく

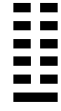


剥、不利有攸往。

はく はく

剥は往くところあるに利りあらず。

24 地雷復 ちらい ふく



復、亨。出入无疾。朋来无咎。反復其道。七日來復。利有攸往。

ふく ふく

とお とお

しゆつにゆうやまい しゆつにゆうやまい

ともきた ともきた

とが とが

復は亨る。出入疾なし。朋来りて咎なし。

みち みち

ほんぷく ほんぷく

なのか なのか

きた きた

ふく ふく

その道を反復す。七日にして来り復す。

ゆ ゆ

往くところあるに利りあり。



25 天雷无妄 てんらいむぼう



无妄、元亨利貞。其匪正有眚。不利有攸往。

むぼう おお とお ただ

无妄は元いに亨る、貞しきに利あり。

それ正せいに匪あらざれば眚わざわいあり。往ゆくところあるに利りあらず。

26 山天大畜 さんてんだいちく



大畜、利貞。不家食吉。利涉大川。

だいちく ただ

大畜は貞しきに利あり。

家食かしょくせずして、吉きつなり。

大川たいせんを涉わたるに利りあり。





27 山雷頤 さんらいい



頤、貞吉。觀頤。自求口實。

い ただ きつ い み  
頤は貞しければ吉。頤を觀る。

みずか こうじつ もと  
自ら口実を求む。

28 沢風大過 たくふうたいか



大過、棟撓。利有攸往。亨。

たいか むなぎたわ  
大過は棟撓めり。

ゆ り とお  
往くところあるに利あり。亨る。



29 坎為水 かんいすい



習坎、有孚。維心亨。行有尚。

しゅうかん

まこと

こころ

つな

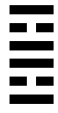
とお

習坎は孚あり。心を維げば亨る。

ゆ たす

行けば尚くることあり。

30 離為火 りいか



離、利貞。亨。畜牝牛、吉。

り ただ

離は貞しきに利あり。亨る。

り

とお

















ひんぎゆう















やしな

きつ

牝牛を畜う、吉なり。



<p>15 謙 けん</p> 	<p>13 同人 どうじん</p> 	<p>11 泰 たい</p> 	<p>9 小畜 しょうちゆう</p> 	<p>7 師 し</p> 	<p>5 需 じゆ</p> 	<p>3 屯 ちゆん</p> 	<p>1 乾 けん</p> 
<p>謙は軽くして、豫は怠るなり。</p>	<p>大有は衆なり。同人は親なり。</p>	<p>否・泰は其の類を反するなり。</p>	<p>小畜は寡きなり。履は処らざるなり。</p>	<p>比は楽しみ、師は憂う。</p>	<p>需は進まざるなり。訟は親しまざるなり。</p>	<p>屯は見われて其の居を失わず。蒙は雑にして著わる。</p>	<p>乾は剛に、坤は柔。</p>
 <p>豫 16</p>	 <p>大有 14</p>	 <p>否 12</p>	 <p>履 10</p>	 <p>比 8</p>	 <p>訟 6</p>	 <p>蒙 4</p>	 <p>坤 2</p>

<p>29 坎 かん</p> 	<p>27 頤 い</p> 	<p>25 无妄 むぼう</p> 	<p>23 剝 へく</p> 	<p>21 噬嗑 ぜいごう</p> 	<p>19 臨 りん</p> 	<p>17 隨 ずい</p> 
<p>離は上りて、坎は下るなり。</p>	<p>大過は顛えるなり。頤は正を養うなり。</p>	<p>大畜は時なり。无妄は災なり。</p>	<p>剥は爛なり。復は反なり。</p>	<p>噬嗑は食うなり。賁は色なきなり。</p>	<p>臨・觀の義は、或いは与え或いは求む。</p>	<p>隨は故なきなり。蠱は飭のうなり。</p>
 <p>離 30</p>	 <p>大過 28</p>	 <p>大畜 26</p>	 <p>復 24</p>	 <p>賁 22</p>	 <p>觀 20</p>	 <p>蠱 18</p>

31 沢山咸 たくさんかん



咸、亨。利貞。取女吉。

かん とお ただ

咸は亨る。貞しきに利あり。

女を取るは吉なり。

じよ めと きつ

32 雷風恒 らいふうこう



恒、亨。无咎。利貞。利有攸往。

こう とお とが ただ

恒は亨る。咎なし。貞しきに利あり。

往くところあるに利あり。



33 天山遯 てんざんとん



遯、亨。小利貞。

とん とお しょうただ

遯は亨る。小貞しきに利あり。

34 雷天大壮 らいてんだいそう



大壮、利貞。

だいそう ただ

大壮は貞しきに利あり。



35 火地晋 かちしん



晋、康侯用錫馬蕃庶。晝日三接。

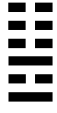
しん こうこうもつ うま たも はんしよ

晋は康侯用て馬を錫うこと蕃庶たり。

ちゆうじつ み まじ

昼日に三たび接わる。

36 地火明夷 ちかめい



明夷、利艱貞。

めい い かんてい り

明夷は艱貞に利あり。



37 風火家人 ふうかかじん

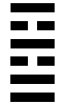


家人、利女貞。

かじん じよ ただ

家人は女の貞しきに利あり。

38 火沢睽 かたくけい



睽、小事吉。

けい しょうじ きつ

睽は小事には吉なり。



39 水山蹇 すいざんけん



蹇、利西南、不利東北。利見大人、貞吉。

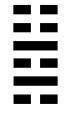
けん せいなん り とうほく り

蹇は西南に利あり、東北に利あらず。

たいじん み り ただ きつ

大人を見るに利あり、貞しくして吉。

40 雷水解 らいすいかい



解、利西南。无所往、其來復吉。有攸往、夙吉。

かい せいなん り

解は西南に利あり。

往くところなければ、其れ来り復りて吉なり。

ゆ そ きた かえ きつ

往くところあれば、夙くして吉なり。

はや きつ





41 山沢損 さんたくそん



損、有孚、元吉、无咎。可貞、利有攸往。曷之用。二簋可用亨。

そん まこと

おお きつ

とが

損は孚あれば、元いに吉にして、咎なし。

てい

貞にすべくして、往くところあるに利あり。

ゆ

り

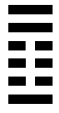
なに

もち

に きもつ まつ

曷をかこれ用いん。二簋用て亨るべし。

42 風雷益 ふうらいえき



益、利有攸往。利涉大川。

えき

ゆ

益は往くところあるに利あり。大川を渉るに利あり。

り

たいせん

わた

り



43 沢天夫 たくてんかい



夫、揚于王庭。孚號有厲。告自邑。不利即戎。利有攸往。

かい おうてい あ まこと さけ あやう

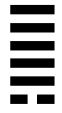
夫は王庭に揚ぐ。孚ありて号ぶ、厲きことあり。

っ ゆう じゆう っ り

告ぐること邑よりす。戎に即くに利あらず。

往くところあるに利あり。

44 天風姤 てんぷうこう



姤、女壯。勿用取女。

こう じよさか じよ めと もち

姤は女壯んなり。女を取るに用うるなかれ。



45 沢地萃 たくちすい



萃〔亨〕。王假有廟。利見大人。亨。利貞。用大牲吉。利有攸往。

すい とお おうゆうびよう いた たいじん たり とお

萃は亨る。王有廟に仮る。大人を見るに利あり。亨る。

ただ たり

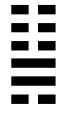
貞しきに利あり。

たいせい もち

大牲を用うるに吉。往くところあるに利あり。

きつ ゆ たり

46 地風升 ちふうしやう



升、元亨。用見大人。勿恤。南征吉。

しやう おお とお もつ たいじん

升は元いに亨る。用て大人を見る。

うれ なんせい きつ

恤うるなかれ。南征して吉なり。



47 沢水困 たくすいこん



困、亨。貞。大人吉无咎。有言不信。

こん とお ただ たいじん きつ とが

困は亨る。貞し。大人は吉にして咎なし。

言うことあれど信ぜられず。

48 水風井 すいふうせい



井、改邑不改井。无喪无得。往來井井。汔至、亦未繙井、羸其瓶。凶。

せい ゆう あらた せい あらた うしな う

井は邑を改めて井を改めず。喪うなく得るなし。

往くも来るも井を井とす。汔んど至らんとし、

ま せい つりごと つるべ やぶ きよう

亦たいまだ井に繙せず、その瓶を羸る。凶なり。



49 沢火革 たくかかく



革、巳日乃孚。元亨利貞。悔亡。

かく きじつ すなわ まこと

革は巳日にして乃ち孚あり。

おお とお ただ り くいほろ

元いに亨る貞しきに利あり。悔亡ぶ。

50 火風鼎 かふうてい



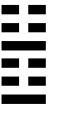
鼎、元〔吉〕亨。

てい おお きつ とお

鼎は元いに吉にして亨る。



51 震為雷 しんらい



震、亨。震來虩虩。笑言哑哑。震驚百里。不喪匕鬯。

しん とお

震は亨る。

しん きた

げきげき

しやうげんあくあく

震の来るとき虩々たり。笑言哑々たり。

しん ひやくり

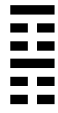
おどろ

ひちよう

うしな

震は百里を驚かす。匕鬯を喪わず。

52 艮為山 ごんいざん



艮其背、不獲其身。行其庭、不見其人。无咎。

そ せ とど

そ み え

其の背に良まりて、其の身を獲ず。

そ にわ ゆ

そ ひと み

とが

其の庭に行きて、其の人を見ず。咎なし。



53 風山漸 ふうざんぜん



漸、女帰吉。利貞。

ぜん ぜん じよ じよ とつ とつ きつ きつ

漸は女の帰ぐに吉なり。貞ただしきに利りあり。

54 雷沢帰妹 らいたくきまい



帰妹、征凶。无攸利。

きまい きまい ゆ ゆ きよう きよう

帰妹は征けば凶なり。利りするところなし。



55 雷火豊 らいかほう



豊、亨。王假之。勿憂、宜日中。

ほう とお おう いた うれ につちゆう よろ

豊は亨る。王これに仮る。憂うるなかれ、日中に宜し。

56 火山旅 かざんりよ



旅、小亨。旅貞吉。

りよ すこ とお りよ てい きつ

旅は小し亨る。旅の貞あれば吉なり。





57 巽為風 そんいふう



巽、小亨。利有攸往。利見大人。

そん すこ とお

ゆ

巽は小し亨る。往くところあるに利あり。

たいじん み

大人を見るに利あり。

58 兌為沢 だいたく



兌、亨。利貞。

だ とお

ただ

兌は亨る。貞しきに利あり。



59 風水渙 ふうすいかん



渙、亨。王假有廟。利涉大川。利貞。

かん とお おうゆうびよう いた

渙は亨る。王有廟に仮る。

たいせん わた り ただ

大川を渉るに利あり。貞しきに利あり。

60 水沢節 すいたくせつ



節、亨。苦節不可貞。

せつ とお せつ くる ただ

節は亨る。節に苦しみて貞しとす可からず。



ふうたくちゆうふ

61 風沢中孚



中孚、豚魚吉。利涉大川。利貞。

ちゆうふ

とんぎよ

きつ

たいせん

わた

り

中孚は豚魚にして吉なり。大川を渉るに利あり。

ただ

り

貞しきに利あり。

らいざんしゆうか

62 雷山小過



小過、亨。利貞。可小事不可大事。飛鳥遺之音。不宜上宜下。大吉。

しゆうか

とお

ただ

り

小過は亨る。貞しきに利あり。

しゆうじ

か

だいじ

か

ひちよう

ね

のこ

小事に可なるも大事に可ならず。飛鳥これが音を遺す。

のぼ

よろ

くだ

よろ

おお

きつ

上るに宜しからず下るに宜し。大いに吉なり。



63 水火既済 すいかきせい



既済、「小」亨。「小」利貞。初吉終乱。

きせい すこ とお ただ すこ

既済は小し亨る。貞しきに小し利あり。

はじ きつ おわ みだ

初めは吉にして終りには乱る。

64 火水未済 かすいびせい



未済、亨。小狐汔済。濡其尾。无攸利。

















びせい とお しょうこほと



















未済は亨る。小狐汔んど済る。其の尾を濡らす。

り

利するところなし。



<p>45 萃 <small>すい</small></p> 	<p>43 夬 <small>かい</small></p> 	<p>41 損 <small>そん</small></p> 	<p>39 蹇 <small>けん</small></p> 	<p>37 家人 <small>かじん</small></p> 	<p>35 晋 <small>しん</small></p> 	<p>33 遯 <small>とん</small></p> 	<p>31 咸 <small>かん</small></p> 
<p>萃は聚まって、升は来らずなり。</p>	<p>夬は決なり。剛の柔を決するなり。 姤は遇うなり。柔の剛に遇うなり。</p>	<p>損益は盛衰の始めなり。</p>	<p>解は緩なり。蹇は難なり。</p>	<p>睽は外なり。家人は内なり。</p>	<p>晋は昼なり。明夷は誅するなり。</p>	<p>大壮は止まり、遯は退くなり。</p>	<p>咸は速やかなり。恒は久しきなり。</p>
 <p>升 <small>しょう</small> 46</p>	 <p>姤 <small>こう</small> 44</p>	 <p>益 <small>えき</small> 42</p>	 <p>解 <small>かい</small> 40</p>	 <p>睽 <small>けい</small> 38</p>	 <p>明夷 <small>めいひ</small> 36</p>	 <p>大壮 <small>だいそう</small> 34</p>	 <p>恒 <small>こう</small> 32</p>

<p>63 既濟 <small>きせい</small></p> 	<p>61 中孚 <small>ちゆうふ</small></p> 	<p>59 渙 <small>かん</small></p> 	<p>57 巽 <small>そん</small></p> 	<p>55 豊 <small>ほう</small></p> 	<p>53 漸 <small>ぜん</small></p> 	<p>51 震 <small>しん</small></p> 	<p>49 革 <small>かく</small></p> 	<p>47 困 <small>こん</small></p> 
<p>既濟は定まるなり。 未済は男の窮まるなり。</p>	<p>小過は過ぐるなり。中孚は信なり。</p>	<p>渙は離るるなり。節は止むるなり。</p>	<p>兌は見われて、巽は伏すなり。</p>	<p>豊は故多く、親寡きは旅なり。</p>	<p>漸は女の歸ぐに男を待ちて行くなり。 婦妹は女の終りなり。</p>	<p>震は起ぎるなり。艮は止まるなり。</p>	<p>革は故きを去るなり。 鼎は新しきを取るなり。</p>	<p>井は通じて、困は相い遇うなり。</p>
 <p>未済 <small>びせい</small> 64</p>	 <p>小過 <small>しょうか</small> 62</p>	 <p>節 <small>せつ</small> 60</p>	 <p>兌 <small>だ</small> 58</p>	 <p>旅 <small>りよ</small> 56</p>	 <p>婦妹 <small>きまい</small> 54</p>	 <p>艮 <small>こん</small> 52</p>	 <p>鼎 <small>てい</small> 50</p>	 <p>井 <small>せい</small> 48</p>

乾 けん  
履 り  
同人 どうじん  
无妄 むぼう  
姤 こう  
訟 しょう  
遯 とん  
否 ひ

夬 かい  
兌 だ  
革 かく  
随 ずい  
大過 たいか  
困 こん  
咸 かん  
萃 すい

大有 だいゆう  
睽 けい  
離 り  
噬嗑 ぜいごう  
鼎 てい  
未濟 びせい  
旅 りよ  
晋 しん

大壮 だいそう  
歸妹 きまい  
豊 ほう  
震 しん  
恒 こう  
解 かい  
小過 しょうか  
豫 よ

小畜 しょうちく  
中孚 ちゆうふ  
家人 かじん  
益 えき  
巽 そん  
渙 かん  
漸 ぜん  
觀 かん

需 じゆ  
節 せつ  
既濟 きせい  
屯 ちゆん  
井 せい  
坎 かん  
蹇 けん  
比 ひ

大畜 だいちく  
損 そん  
賁 ひ  
頤 い  
蠱 こ  
蒙 もう  
艮 ごん  
剝 はく

泰 たい  
臨 りん  
明夷 めいいい  
復 ふく  
升 しょう  
師 し  
謙 けん  
坤 こん

